

特報部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

横須賀で異臭騒ぎの怪

神奈川県横須賀市で21日、「ガスのような臭いがする」という異臭騒ぎがあった。こうした騒ぎ、実はこの夏3回目。これまで焼けたゴムの臭いやシンナー臭という通報もあった。原因を巡っては「クジラの死骸の臭い」や「巨大地震の前触れ」といったさまざまな臆測が飛び交っている。市民を悩ませる謎の異臭。何が起きているのか。(中山岳)

二十一日午前八時四十分ごろから同九時四十分ごろにかけて、横須賀市消防局に三十三件の通報が相次いだ。沿岸部の住民からが多く、いずれも「ガスのような臭い」がしたという。同局は通報があった地域を調べたものの、ガス漏れや異臭の発生源は確認できなかった。

異臭騒ぎは六、七月にも起きた。六月四日は午後八時すぎから二時間近く、三浦半島南端の三浦市から隣接する横須賀市にかけて「ゴムが焼けたような臭い」「シンナーのような臭い」といった通報が約二百件相次いだ。七月十七日は午前十時四十分から約三十分間、横須賀市内でガス臭などを訴える通報が七件寄せられた。

内藤光夫さん(七七)は同市三春町は七月の異臭を振り返る。「焦げ臭いような泥臭いような、吐き気をもよおす猛烈な臭いが窓から流れてきた。近所で火事があったのかと見回しても何もなく、臭いは十五分くらいで消えた。あんな臭いは初めてで、原因が分からないままなのは不安」

ちよつとこの日、横須賀

今夏3回目 「焦げ臭いような…吐き気わく」



よおす猛烈な臭いが窓から流れてきた。近所で火事があったのかと見回しても何もなく、臭いは十五分くらいで消えた。あんな臭いは初めてで、原因が分からないままなのは不安

ちよつとこの日、横須賀

21日にこの夏3回目の異臭騒ぎがあった神奈川県横須賀市＝本社へリ「おおづる」から

発生源不明 クジラの死骸? 巨大地震の前兆?

新港付近から東京湾外にクジラの死骸を船で運び出していた。ただ、横須賀海上保安部管理課は「クジラを運んだ付近から異臭の報告はなく、臭いの種類も異なる。関連は薄い」とみている。

過去には東京湾岸の他地域でも異臭騒ぎは起きている。千葉市中央区では二〇〇四年六月、ガス臭がするとの苦情が相次いだ。その後、沿岸部に製鉄所があるJFEスチールの工場内での作業が原因と分かった。

では、横須賀も工場などから発生している可能性はないのか。

三回の発生時間や当時の風向きを調べるとまちまちで、三回の発生源が同じと考えるのは難しい。横須賀市消防局の担当者は「異臭が風に乗って広がったのは間違いないようだ。ただ、発生源が分からず、何ともしようがない」と苦り切る。横須賀市環境管理課も「市内の事業所や工場等で事故の連絡はない」という。関係者が頭を悩ませるなか、

か、浮上したのが「地震の前兆」説。立命館大環太平洋文明研究センターの高橋学特任教授(災害学)によると、大きな地震や地滑りの発生前には周辺の地下などで岩石が壊れ、きなくさいような独特の臭いが発生する場合があるという。

高橋氏は「阪神・淡路大震災では地震発生の数カ月前に神戸市の六甲山周辺で異臭があった。関東大震災の前にも異臭の記録があった。もちろん、今回の一連の異臭が巨大地震の前触れとは断定できないが、警戒は怠らないほうがいい」と呼びかける。

どの説も決め手がない中、ネット上では「東京湾を航行する船がガス抜きをした」「米軍基地を狙ったテロでは」といった推測も出ている。神奈川県大気水質課の吉江博巳・大気環境グループリーダーは「異臭が自然発生なのか人為的なものなのかも含めて原因を調べようと検討している。詳細は決まっていない」。果たして謎は解けるのか。

LINE追跡